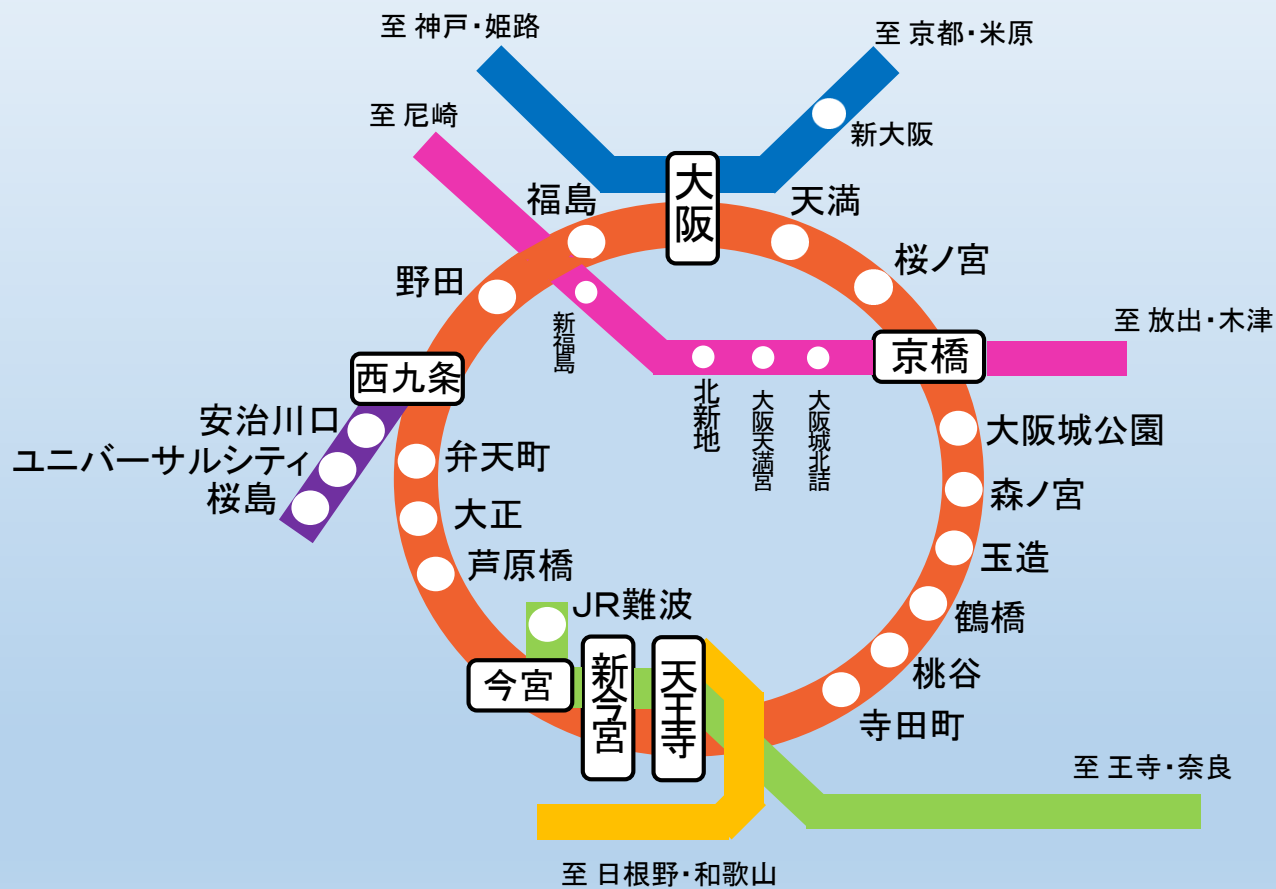


新時代を迎える 大阪環状線



KATO
PRECISION RAILROAD MODELS



- 大阪環状線は1周21.7Kmに19の駅を持つ、大阪中心地をめぐる環状路線です。
- 明治28年（1895）に開通した東半分（後の城東線）と、明治31年（1898）に開通した西半分（後の国鉄西成線）が、昭和36年（1961）に関西本線今宮から分岐した貨物の安治川の架橋によって結ばれて環状運転が始まりました。
- 昭和48年（1973）、関西本線から大阪を結ぶ快速電車の直通運転開始以後、平成元年（1989）には阪和線から天王寺経由での南紀特急直通運転がスタート。平成6年（1994）からは関西空港開港に伴った関空特急や関空快速も環状線への乗り入れを果たしました。現在は大和路線（関西本線）からの大和路快速も加わり、各線から環状線に乗り入れた列車は西側区間では快速運転、大阪を境に東側区間を各駅停車として天王寺まで運転されます。
- 近年は平成12年（2012）にユニバーサルシティ駅の開業により、ゆめ咲線（桜島線）と、西側線区の需要も活発化してきました。

大阪環状線は1周21.7Kmに19の駅を持つ、大阪中心地をめぐる環状路線です。

明治28年（1895）に大阪鉄道として開通した東半分は、明治40年（1907）に関西鉄道の買収を経て城東線になりました。一方、明治31年（1898）に西成鉄道（後の国鉄西成線）として開通した西半分と、関西本線今宮から分岐した貨物が、昭和36年（1961）に開通した安治川の架橋によって左岸の西成線と結ばれたことにより、環状運転が始まりました。

昭和48年（1973）、関西本線から大阪を結ぶ快速電車の直通乗り入れ運転開始をはじめに、平成元年（1989）には阪和線から天王寺経由で南紀特急が直通運転を開始。また平成6年（1994）からは関西空港開港に伴い、関空特急や関空快速、和歌山方面からの快速列車も環状線への乗り入れを果たしました。奈良線からの大和路快速、阪和線からの関空快速、紀州路快速は、各線から環状線に乗り入れた後、西側区間では快速運転、大阪を境に東側区間を各駅停車として天王寺まで運転されます。

近年は平成12年（2012）に開園したユニバーサルスタジオジャパンにより、ゆめ咲線（桜島線）と、西側線区の需要も活発化してきました。